

タウンレポート Town Report



大野谷さんがアグリライフ・フォーラムで優秀賞

2月5日(金) 県と農林生活研究グループ協議会主催のアグリライフ・フォーラム2016が県総合教育センターで行われ、意見発表の部に大野谷幸さん(東高橋)が芳賀地区代表として出場し、優秀賞を受賞しました。

「今までの私」と題し、これまでの経験を生かし農業の良さを伝えるとともに、次世代の女性リーダーが組織活動に参画できるように支援していきたいという情熱のこもった発表でした。



甘い旬の味覚を堪能「いちご祭り」

2月7日(日)道の駅はがで「いちご祭り」が行われ、たくさんの方が来場しました。

スカイベリーやとちおとめを試食し味覚の違いを味わったあと、新鮮なイチゴを買い求める人が多く見られました。利きイチゴのコーナーは行列ができるほどの人気があったほか、イチゴを使ったさまざまなスイーツも多数出店されました。



板橋さんが県統計協会名誉会長表彰

2月5日(金) 県総合文化センターで県統計大会が開催され、多年にわたり円滑な統計調査の推進に尽力された個人が表彰されました。

町からは、板橋信行さん(西水沼)が県統計協会名誉会長表彰を受賞されました。



板橋さんはこれまで国勢調査、農業センサス、経済センサスなど、全国一斉に行われる調査の調査員として尽力されています。

稲山さん・町青少年クラブ協議会が県農業青年研究大会で発表

2月3日(水) コンセーして平成27年度県農業青年研究大会が開かれ、稲山拓也さん(下高根沢)と町青少年クラブ協議会(発表者小林孝之さん(上延生))が、芳賀地区代表として発表を行いました。



▲小林さん(左)・稲山さん(右)

稲山さんはプロクロー栽培において独自で考案した調整装置や定植方法について、町青少年クラブ協議会は園児との農業体験と食育活動について発表し、ともに県青少年クラブ協議会長賞を受賞しました。

JAはが野イチゴ部会がイチゴをプレゼント

1月18日(月) JAはが野イチゴ部会が、町内の小中学校にイチゴをプレゼントしました。



これは、子どもたちに芳賀地区のイチゴのおいしさをもっと知ってもらおうと企画されたものです。イチゴ部会から食べごろのイチゴが各学校に配られ、給食のデザートに出されました。子どもたちは、甘いイチゴをうれしそうにほお張っていました。

黒崎さんが農業コンクールで「とちぎ元気大賞」

2月2日(火) 県公館で行われた第9回県元気な農業コンクール表彰式で、黒崎文雄さん(芳志戸)が経営活性化部門で「とちぎ元気大賞」を受賞しました。



黒崎さんは水稲・麦等を中心に約50ヘクタールという大規模経営をしており、特に水稲では、複数品種を栽培し高品質・多収を実現、新技術導入等地域のモデルとなる安定的で先進的な経営を実践していることが高く評価されました。

地域住民公開講座「最期まで目一杯生きる」

1月30日(土) 町民会館ホールで、芳賀郡市医師会主催の地域住民公開講座が行われました。



緩和ケア診療所の萬田緑平先生による講演では、「最後まで自宅で暮らしたい」という患者本人の声に向き合ってきた家族の様子が伝えられ、来場した皆さんはその家族の温かさを感じていました。

町民参加音楽発表会

2月6日(土) 町民会館ホールで町民参加音楽発表会が行われ、ピアノや合唱、吹奏楽、マーチングなど23組の発表がありました。



年長さんや小学校低学年の子どもたちは少し緊張している様子でしたが、一生懸命頑張りました。芳賀東小学校音楽部は楽しい演奏、芳賀中学校吹奏楽部は、会場全体を使ったパフォーミングで観客を魅了していました。

100歳敬老祝賀

1月25日(月) 100歳を迎えた豊田トシさん(稲毛田)を、町長がお祝いに訪問しました。



豊田さんは、ご自宅で元気に過ごしています。眼鏡をかけずに新聞を毎日読んでいます。町長から花束を受け取り、とてもうれしそうでした。

手塚さんがナス立毛共進会農政部長賞受賞

JAはが野なす部会の立毛共進会の部で、手塚郁さん(東水沼)が農政部長賞を受賞しました。



手塚さんは「就農2年目で受賞できて光栄です。周りの皆さんのご支援、ご指導の賜物であると感じています。これからも安心安全でおいしいナスを栽培していきたいです」と受賞を喜んでいました。

町振興計画審議会が町長に答申書を提出

2月15日(月) 町長が町振興計画審議会に意見を伺っていた第6次芳賀町振興計画案について、審議会



を代表して、宇都宮大学教授である中村祐司会長から答申書が提出されました。この振興計画は、平成39年を目標年次とした町の方向性を示すもので、町がこの答申書などを参考に策定します。